

田沼武能 竹内敏信 選

撮り歩き日本紀行

ニッポンを歩こう、
心の風景を撮ろう

よみうり風景写真コンテスト 2001

15,388の公募作品から選ばれた
訪ねてみたい・とっておきの風景200作品
[撮影地ガイド付き]



読売新聞社

主催 読売新聞社

後援 財団法人厚生年金事業振興団
財団法人休暇村協会

特別協力 カメラのキタムラ

特別協賛 富士写真フィルム

協力 旅行読売出版社

選考委員

田沼武能（写真家）

竹内敏信（写真家）

平井鏡太郎（読売新聞社編集局写真部長）
林 章治（旅行読売出版社取締役編集部長）

選考協力

読売新聞社写真実大賞事務局
板見浩史（日本ワイトシステム編集長）

作品募集 カメラのキタムラ

選考運営協力 新東通信

企画・制作 ナイスク
読売広告社

編集 ナイスク
松尾 喬 山本道生 雲野さな絵 倉田優子

構成・デザイン 志誠デザイン事務所

古屋真樹 黒田陽子

校閲 高光社

進行 工藤力（文化堂印刷）

製版 平野維敏 奥津雅次 國原彰人（文化堂印刷）

地図制作 牧野知弘

撮り歩き日本紀行

よみうり風景写真コンテスト2001

発行日 二〇〇一年（平成十四年）三月十三日 第一刷

編集人 横山孝

発行人 小島敦

発行所 読売新聞社

〒一〇〇・八〇五五 東京都千代田区大手町一・一七

〒五三〇・八五五一 大阪市北区野崎町五・九

〒八〇・八五七一 北九州市小倉北区明和町一・一

〒四六〇・八四七〇 名古屋市中区栄一・七七六

印刷所 文化堂印刷株式会社
製本所

定価はカバーに表示しております。

Printed in Japan

落丁本・荒丁本はお取り替えいたします。

© 2002 Yomiuri Shimbun-sha

田沼武能 竹内敏信 選

撮り歩き日本紀行

ニッポンを歩こう、
心の風景を撮ろう

よみうり風景写真コンテスト 2001

15,288の応募作品から選ばれた
訪ねてみたい・とっ「おきの風景200作品
[横断線ガイド付き]



読売新聞社

FILM
Information



ズームカメラには、 ズームマスター 800

世界最高のシャープネス

※感度1800000画素の中で
平成12年6月1日現在当社調べ



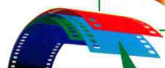
ズームカメラに最適な高感度

FUJICOLOR
SUPERIA 800
ズームマスター



APSズームカメラにも最適

FUJICOLOR
nexia 800
ズームマスター



フィルム選びのポイント
第4の感色層

速い動きも
ブレずにピタリ

フラッシュなしでも
手ブレが少ない

手前から奥まで
ピントくっきり

暗い場所でも
明るく撮れる

よみうりカラーブックシリーズ



9784643020076

ISBN4-643-02007-5

読売新聞社 定価：本体1524円＋税

C0072 ¥1524E



1920072015247

原书缺页

原书缺页

原书缺页

原书缺页

原书缺页

原书缺页

田沼武能 竹内敏信 選

撮り歩き日本紀行

よみうり風景写真コンテスト 2001

ニッポンを歩こう、 心の風景を撮ろう

旅先で、故郷で、思わずシャッターをきった心の風景。全国からお寄せいただいた情緒豊かな作品は総数15,388点にも及び、ここに一冊の写真集としてまとめました。

日本の情景が失われつつある現在、忘れてはいけない大切なものが、この写真集には溢れています。自然、祭り、造形美など被写体は様々ですが、どれも残しておきたい日本の風景ばかり。全国の写真愛好家が撮った写真には、まだ見たことのない現象、行ったことのない土地のものも沢山あるはずです。ここに紹介する200点の作品を見ながら、日本の美しさを改めて知る旅に出かけましょう。

北海道・東北

P.17

関東・信越・東海

P.45

北陸・近畿・中国

P.83

四国・九州・沖縄

P.115

カメラのキタムラは、あなたのフォトライフをサポートします。

腕試し・腕自慢の場をご提供

応募総数10万点を超える
キタムラの「365日フォトコンテスト」

- 全国春の花フォトコンテスト
 - 子ども&赤ちゃんすくすくフォトコンテスト
 - ペット・動物ふれあい写真コンテスト
 - 全国秋の彩フォトコンテスト
 - わたし流ガーデニング
- 入賞作品の一部が一流写真家の選考で、選評とともに●
下記の雑誌に載ります。

フォトコンテスト専門マガジン
「フォトコンライフ」



写真テクニックを高めたい方、著名
写真家や写真ファンとの交流を深め
たい方に。
(3・6・9・12月全国書店発売・双葉社)

無料誌
「フォトライフ四季」



お客様とキタムラをつなぐ
コミュニケーション情報誌
(年4回キタムラ店頭で配布)

「撮り歩き日本紀行」



日本人の心の風景をおきたて、読売
風景写真コンテスト作品集
(読売新聞社刊)

「ガーデニング実例300」



全国から寄せられたガーデニングの
知恵がいっぱい。
(ブティック社刊)

さらに腕を磨きたい方のために

撮影ツアー&写真教室を開催

世界を撮る
日本を撮る

プロカメラマンと行く国内外の撮影ツアーを年間100回開催。
さまざまなテーマによる写真教室も実施し、あなたのフォト
ライフをさらに充実させます。



インターネット
会員募集中!

あなたの写真生活応援サイト

www.kitamura.co.jp

インターネットで、その場で質問、その場で買えます。

インターネット店

カメラ、デジカメ、ビデオカメラなど、ほしい商品をズバリ検索・購入

ネット中古

全国555店の在庫を検索

ネットプリントサービス

ご自宅からインターネットによって、デジタルプリントのご注文ができる!
(お引き渡しは、お近くの店か宅配便で)

●その他、おすすめ撮影ポイントや写真教室の開催など、役立つ情報が満載!

フォトネットワーク



株式会社キタムラ

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 新横浜WNビル
TEL (045) 476-0777 FAX (045) 476-0778 ホームページ <http://www.kitamura.co.jp>

Just Your Image!

感動をそのまま再現する、プリントでありたい



いつも写真を愛する人のすぐ近くに

プリントのトップ・クオリティをめざして、

最新鋭の現像マシン「フロンティア」を導入。

ボジでもデジカメでも美しく、早く仕上げます。

すべては写真を心から愛する人のために――。

全国にひろがる555店のネットワークによって、私たちは

あなたの写真ライフのベストパートナーであり続けます。



日本人にとっての 「心の風景」は、 子供のころに口ずさんだ 童謡や唱歌の歌詞に……。

田沼武能
(社)日本写真家協会会長

最近、風景写真のレベルが上がっている。今回も高い水準の作品が多数集まったことに、審査員の一人として喜びを感じる。今回と、昨年の「21世紀に残す日本の風景遺産100選」に共通して見られた傾向は、明け方と夕暮れ時の風景が多いこと。

風景写真の画面上に「動き」を表現するには、朝日が昇る瞬間や日が沈みゆく夕暮れ時に撮影し、雲の形や光がドラマチックに変化してゆく瞬間を写し込んでいくことが効果的だ。グランプリのほか、厚生年金事業振興団賞、カメラのキタムラ賞に輝いた作品は、いずれも朝、夕の一瞬を画面に切り取っている。

グランプリは福岡県久留米市にある巨瀬川（せがわ）の夕景。雲が川面に映えて、真っ赤な画面の中に、船と船頭を小さく映し込んである。この小さな存在が、作品をいつそうダイナミックに仕上げています。

厚生年金事業振興団賞は、浅間山の朝焼け。うっすらと雪が山肌に積もった様子が、斜光線によってより立体的に表現されている。

風景写真は、いろんな条件がそろったときに良い作品が生まれる。その浅間山の場合では、山頂は雲がたなひいて見えない。それともまた風景を大きく見せている。さらに山すその大地には枯れた草が赤く光っており、そんな素晴らしい条件がそろった、まさにその一瞬にシャッターを押ししている。

こういった作品は、ひよっと行つて撮ることとはほとんど不可能で、何度も何度も通っている間に、どういう条件がこの風景に合った時間帯であるかを自分なりに計算できるようになる。その計算どおり画面化できたときにこそ、良い写真が撮れる。

ただ今回のコンテストでは、「ふだん良く見ている場所」を写した作品、例えば東京や京都を写したものが意外と少なかったのが残念に思われる。やはり「風景写真」と言っても、どうしても遠くに行つて撮ることが、頭に浮かぶのだらう。しかし身近な場所でも良い風景を見つけ、撮影条件や表現方法を

を自分なりに考えて撮るというのも大切な。

風景写真の撮影は天候に左右支配されるので、「今だ」と思ったときに撮るチャンスに恵まれるのは、その場所に住んでいる人。そういう意味では、自分の身近なところに題材を求めるとチャンスに出会う機会も多くなる。また別の視点で生活が見える風景、生活の中の風景を狙ってみても面白いのではないだろうか。

また、風景写真というと、決まったパターンにはめ込んでしまう傾向がある。例えばプロ写真家の名作と言われる作品の撮影場所に行き、同じような写真作りをしている人がいる。

しかし既成概念を外してこそ初めて、その人の感性が出てくる。それぞれの感性で撮っているかといえば、皆同じ作品が並んでしまう。その人の感性、個性がきちっと出ている作品の方が訴える力が強い。形でまとめた風景写真に人の心をとらえる作品はほとんどない。

今年のテーマは「二ツボン」を歩こう、心の風景を撮ろう」だった。

私たち日本人にとって「心の風景」とは何だろう。その原点は子供のころに歌った童謡や唱歌にあるのではなかろうか。「赤とんぼ」や「メダカの学校」、「浜辺の歌」、「ふるさと」など枚挙にいとまがない。これらの歌詞が現実の風景と重なり合い、その人の人生とともに生きつづけるのだと思う。

ひとは、日の出を眺めて興奮し、日没を見つめてセンチメンタルな気分になる。霧に包まれ静寂を感じる。そして興奮する。今回の上位入賞作はすべて子供のころに口ずさんだ歌詞を映し出している。

重ねて言うが最も大切なことは、撮影者自身が一つの風景を見て感動し、感動したものを写真に表現すること。本人が感動していないもの、心を動かされていないものは、いかに技術的に優れていても、やはり第三者に感動を与えることなどできない。

自分が足で稼いで、自分が感じた感動を写真に表現している。これが良い写真を作るコツだと思っている。

グランプリ

福岡県・久留米市 巨瀬川

「朝焼」 平山隆三



私は「朝焼け、夕焼け」の風景が好きで、昔の景観をとりもどしている場所を求めて、撮影が続いています。この朝焼けは、筑後川の支流「巨瀬川」で撮影した一枚です。霧も出る場所で、時折、幻想的な風景を見せるポイントでもあります。通い始めて1年くらいたったある日、やっと最高の朝焼けに出会いました。河川に写る朝焼けを夢中で撮影した、私の心の風景です。

●撮影データ
1 ニコ F4.5 2 17.35mm F2.8 AFED
3 F8.4 絞リ優先オート 5 フラッシュロームルビ
ア 6 UV



●交通 JR久大本線・善導寺駅より善導寺町飯田交差点を左に折れ、善導寺に向かって直進し、巨瀬川・旧鎮西橋まで徒歩で約15分。

●選評
朝焼けのすばらしさは日本列島の特色ではないが、それどころかこんな良い朝焼けに出会うことは滅多にない。川と人の暮らし、そして日々のドラマがくじくまに伝わってくる作品だ。全体を渡る、一隻の小舟を中心に据えることで、全体の空間を引き締めている。かなり練達した現力が感じられる。

厚生年金事業振興団賞

長野県・軽井沢町 浅間山

「赤映」 小野寺悌三



この撮影地は冬になると強風が吹き、山の斜面に雪を無数に走る壁の間に積もった初雪の様は、まるで山の年輪のようにも見えます。立ち木が一本もなく、雪に白い壁を覆いつくします。黄金色に染まり、その堂々とした姿に感動してシャッターをきりました。

●撮影データ
1 コンタックス 4.5 2 ソナタ T*140mm
F2.8 3 F22.4 絞リ優先オート 5 フラッシュロームルビア



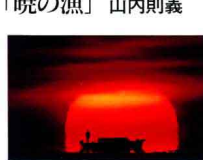
●交通 JR長野新幹線・軽井沢駅より鬼押し出立きのバスで約25分。万山望下車、徒歩約2分。

●選評
浅間山は雪が流れた跡が横にあって、そのすき間に雪が積る。雪が横に積る、満ちて面白く、日が昇ると赤い斜光で照らされて、全体に山の影が丸みがかって見える。また、山頂がからで見えていない。写真に面白みを加えている。明快になっている。山頂の彼方を想像させられる。

カメラのキタムラ賞

三重県・鈴鹿市 スズキ白子マリーナの海岸

「暁の漁」 山内則義



静かな内海の伊勢湾では、湾内を通る大型貨物船などに混じり、漁師1人だけの小さな舟も、はるか沖合に遠望できます。そして秋以降には、太陽が水平線から昇ります。その昇陽のなか、漁船がシルエットになって入っていき、自然と人間の生活の関わりが、時には何かドラマチックな、忘れがたい光景として映ります。

●撮影データ
1 ベンツ F5.8 2 F11.35 3 500mm X
2 3 F16 4 0.5 補正 4 絞リ優先オート 5
フタクリームレバ 400 (800に増感)



●交通 近鉄名古屋線・白子駅から車で約3分。白子港の北側海岸。

●選評
白子海岸に昇る太陽がかなりの望遠レンズで撮影した。超望遠の場合、画面が狭くなるので、太陽をのりの上の漁船、上空の雲を絶妙のタイミングでとらえており、ドラマチックな要素がある。一瞬を逃さない、写真であるが故に表現できる面白さを持っている。

フジフィルム賞

栃木県・佐野市 船津川

「魚とり」 須藤兵七



まだ暑さは残っているものの、9月に入ると秋の気配を確実に感じるのも。子供の頃この時期になると小川で魚とりで熱中。友達と田んぼを走りまわっていたのもです。そんな昔が懐かしく、ふと思い出して久しぶりに地を訪ねてみました。遠くに聞こえる子供たちの声、そこへ行ってみると子供たちが夢中になって魚とりをしていました。純真な顔をして、きつと昔の私も、こんな顔をしていたのだと。

●撮影データ
1 ニコ F10.0 2 AF 24 1 20mm 3 F8
4 絞リ優先オート 5 フラッシュロームルビア 6 UV



●交通 東武佐野線・田島駅下車、駅前佐野館林道を館林方面へ向かい徒歩約15分、左側にある踏切りを曲がってから約5分。

●選評
近ごろどうも、野や田園に出て自然と親しむ、こんな遊びを忘れてしまった。作品を手元でやがや不明瞭な希望、子ども達の輪の中へつと撮影していた、もう少し面白く、味が出たかもしれない。この作品を見た人は、自分の心の風景に近づけるのではないかと、記憶の中にあった日本の小さな自然の優しさが感じられる作品だ。

休暇村協会賞

広島県・山県郡 豊平町

「初夏の里」 下瀬隆幸



ここ広島県の豊平町は、蕎麦の町として有名ですが、レンコン畑も多数点在しています。梅雨明けの頃になると、あちこちの田畑で綺麗なハスの花を見ることが出来ます。この日は雨上がりで、満開になった花と蕎麦のかかった風景がとても素晴らしい、昔懐かしいふるさと風景を思い出させてくれました。

●撮影データ
1 キヤノン EOS 11N 2 シグマ 24mm F2.8
3 F22.4 絞リ優先オート 5 フラッシュロームルビア 6 UV



●交通 広島電鉄(市内を走る路面電車)・紙屋町下車、琴谷行きのバスで上郷志見で下車、バス停の向かって左手。

●選評
花びらが開いたばかりで、全っさらでない、清らかな。白く花びらを画面の半に置くと、大きな葉を真ん中につらねた。ハスはほんとに撮影されるが、望遠レンズを使うと、しかもこの作品は広島県をうまく生かして、しかも手前が奥までポイントを合わせている。手前の印象だが、構成が大胆で面白く。



ONLY REGNO

静かさだけではない。オンリーレグノ

誰よりも静かであること。そして、静かさだけではないこと。
クルマを愛する人に、高次元での安全性、居住性、運動性を約束すること。
その欲びを、クルマに乗るすべての人と、環境をふまえた社会全体と分かち合いたい。
AQドーナツ技術が生み出すトルクバランスに、もうこれ以上は望めない。
オンリーレグノ。それは、貴方のクルマによく似合う。

月に一度は空気圧の点検を！



REGNO ER55 REGNO GR-7000

ブリヂストン・ホームページ「Bridgestone Online」<http://www.bridgestone.co.jp>